

料金単価等の見直しの具体的な内容について

1. 料金単価等の見直し

(1) 電力量料金単価等の見直しについて

○電力量料金単価の見直し

最終保障供給契約の料金単価は東電 EP の標準メニューをもとに設定していることから、下表のとおり電力量料金単価を見直しいたします。基本料金単価の見直しは行いません。

2023 年 3 月 31 日を跨ぐご使用月の料金は、2023 年 3 月 31 日までのご使用分には見直し前の料金単価を、2023 年 4 月 1 日以降のご使用分には見直し後の料金単価を、それぞれ適用して日割計算を行います。

なお、電力量料金単価に基づき算定した金額に、燃料費等調整額を加算・減算したうえで、市場価格調整額を加算・減算したものが電力量料金となります。

<電力量料金単価表>

料金メニュー				2023 年 3 月 31 日までの 料金単価(税込)	2023 年 4 月 1 日からの 料金単価(税込) ^{*1}	
最終保障 電力 A	基本料金	契約電力 1kW ごとに	供給 電圧	6,000 ボルト	2,057 円 00 銭	2,057 円 00 銭
				20,000 ボルト	1,991 円 00 銭	1,991 円 00 銭
				60,000 ボルト	1,925 円 00 銭	1,925 円 00 銭
	電力量料金	ご使用電力量 1kWh ごとに	供給 電圧	6,000 ボルト	(夏季) 20 円 04 銭 (その他季) 18 円 67 銭	(夏季) 26 円 31 銭 (その他季) 24 円 94 銭
				20,000 ボルト	(夏季) 18 円 11 銭 (その他季) 16 円 91 銭	(夏季) 24 円 30 銭 (その他季) 23 円 10 銭
				60,000 ボルト	(夏季) 17 円 81 銭 (その他季) 16 円 63 銭	(夏季) 23 円 99 銭 (その他季) 22 円 82 銭
最終保障 電力 B	基本料金	契約電力 1kW ごとに	供給 電圧	6,000 ボルト	2,178 円 00 銭	2,178 円 00 銭
				20,000 ボルト	1,991 円 00 銭	1,991 円 00 銭
				60,000 ボルト	1,925 円 00 銭	1,925 円 00 銭
				140,000 ボルト	1,859 円 00 銭	1,859 円 00 銭
	電力量料金	ご使用電力量 1kWh ごとに	供給 電圧	6,000 ボルト	(夏季) 18 円 39 銭 (その他季) 17 円 17 銭	(夏季) 24 円 66 銭 (その他季) 23 円 44 銭
				20,000 ボルト	(夏季) 17 円 42 銭 (その他季) 16 円 29 銭	(夏季) 23 円 62 銭 (その他季) 22 円 49 銭
				60,000 ボルト	(夏季) 17 円 14 銭 (その他季) 16 円 04 銭	(夏季) 23 円 32 銭 (その他季) 22 円 22 銭
				140,000 ボルト	(夏季) 16 円 85 銭 (その他季) 15 円 77 銭	(夏季) 23 円 05 銭 (その他季) 21 円 97 銭

○市場価格調整単価の見直し

1kWhあたりの平均市場価格が日本卸電力取引所における取引価格（東京エリアプライス）の2019～2021年度の月間平均値の最低値である4円64銭を下回る場合に、電力量料金から減算する市場価格調整額の算定に用いる市場価格調整単価を以下のとおり見直しいたします。

<市場価格調整単価表>

料金メニュー				2023年3月31日までの 料金単価(税込)	2023年4月1日からの 料金単価(税込) ^{※1}	
市場価格 調整単価	最終保障電力A	ご使用電力量1kWh ごとに	供給 電圧	6,000ボルト	(夏季)2円50銭 (その他季)2円29銭	(夏季)2円50銭 (その他季)2円29銭
				20,000ボルト	(夏季)2円20銭 (その他季)2円01銭	(夏季)2円20銭 (その他季)2円01銭
				60,000ボルト	(夏季)2円16銭 (その他季)1円94銭	(夏季)2円15銭 (その他季)1円94銭
				6,000ボルト	(夏季)2円23銭 (その他季)2円02銭	(夏季)2円23銭 (その他季)2円02銭
				20,000ボルト	(夏季)2円07銭 (その他季)1円89銭	(夏季)2円08銭 (その他季)1円90銭
				60,000ボルト	(夏季)2円04銭 (その他季)1円86銭	(夏季)2円03銭 (その他季)1円85銭
	最終保障電力B	ご使用電力量1kWh ごとに	供給 電圧	140,000ボルト	(夏季)1円99銭 (その他季)1円81銭	(夏季)2円00銭 (その他季)1円82銭

※1 東電EPが2022年9月20日に公表した標準メニューの料金単価を踏まえた単価です。

東電EPは当該料金単価のさらなる見直しを予定しており、当社においても、東電EPの見直しを踏まえ、改めて見直しを行う予定です。

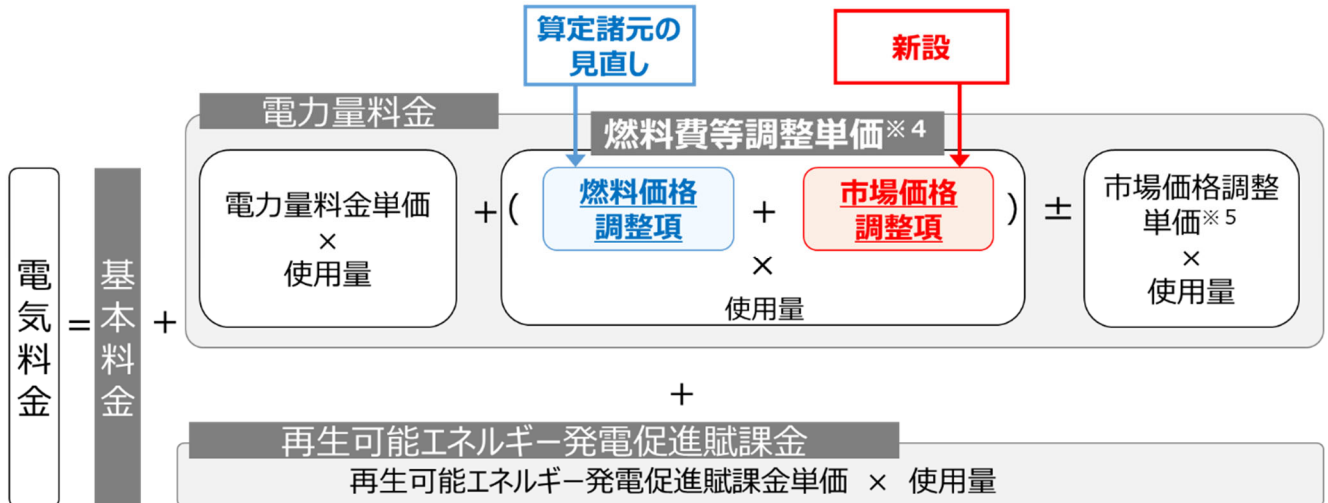
(2) 燃料費調整制度の見直しについて

<新たに導入する燃料費等調整制度の内容>

燃料価格調整項^{※2}については、算定諸元の見直しを行います。(図中青字箇所)

加えて、卸電力取引市場価格^{※3}の変動を電力量料金に反映させるしくみとして、市場価格調整項を新たに導入いたします(図中赤字箇所)。

燃料価格調整項と市場価格調整項を合わせて、燃料費調整制度を燃料費等調整制度に見直します。



○市場価格調整項

毎月の平均市場価格と基準市場価格の差額に、基準市場単価を乗じて算定いたします。

新要素

$$\text{市場価格調整項} = \left(\frac{\text{平均市場価格}^{(2)}}{\text{[毎月変動]}} - \frac{\text{基準市場価格}^{(1)}}{\text{[17円44銭]}} \right) \times \frac{\text{基準市場単価}^{(3)}}{\text{高圧 33銭7厘 / 特別高圧32銭8厘}}$$

$$\text{平均市場価格}^{(2)} = \frac{\text{全日単価}}{\delta 1^{(4)}} \times 0.6566 + \frac{\text{昼間単価}}{\delta 2^{(4)}} \times 0.3434$$

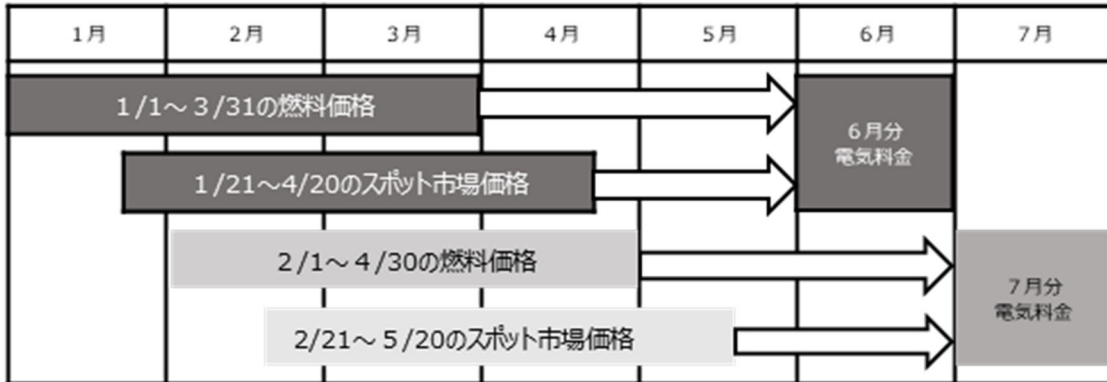
換算係数(全日)
換算係数(昼間)

- ① 基準市場価格：東電E Pが設定した基準となる市場価格
- ② 平均市場価格：算定期間における全日・昼間のスポット市場価格^{※6}の加重平均値
- ③ 基準市場単価：平均市場価格が1円/kWh増減した場合に発生する電力量1kWhあたりの変動額
- ④ 換算係数δ1, δ2：東電E Pが設定した全日と昼間の電力量構成比

○燃料価格・スポット価格の電気料金への反映タイミング

3カ月間の燃料価格およびスポット市場価格にもとづき算定し、燃料価格は2カ月後、スポット市場価格は約1カ月半後の電気料金に反映します。

(イメージ図)



○燃料価格調整項・市場価格調整項の算定諸元

下表のとおり、燃料価格調整項の算定諸元を見直すとともに、市場価格調整項の算定諸元をお示しいたします。

<燃料価格調整項・市場価格調整項の算定諸元>

項目		見直し前	見直し後	
燃料 価格 調整 項	基準燃料価格	44,200円/kl	64,900円/kl	
	基準燃料単価※7	高圧	22銭4厘/kWh	15銭0厘/kWh
		特別高圧	22銭1厘/kWh	14銭5厘/kWh
	換算係数	α(原油)	0.1970	0.0033
		β(LNG)	0.4435	0.4001
		γ(石炭)	0.2512	0.6241
市場 価格 調整 項	基準市場価格	-	17円44銭/kWh	
	基準市場単価	高圧	-	33銭7厘/kWh
		特別高圧	-	32銭8厘/kWh
	換算係数	δ1 (全日)	-	0.6566
		δ2 (昼間)	-	0.3434

※2 燃料価格調整項は、従来の燃料費調整単価に該当します。

※3 卸電力取引市場価格として参照する価格は、お客さまの需要場所の属する供給区域を基に卸電力取引所が公表したスポット市場価格を用います。ただし、これによりがたい場合は、基準市場価格等にもとづき、東電EPが決定した値とします。

※4 燃料費等調整単価の単位は、1銭とし、その端数は、小数点以下第1位で四捨五入いたします。また、燃料価格調整項および市場価格調整項は端数処理いたしません。

※5 市場価格調整単価は、2022年9月1日の最終保障供給料金の見直しにおいて、新たに導入した卸電力取引市場価格を反映するためのしくみです。

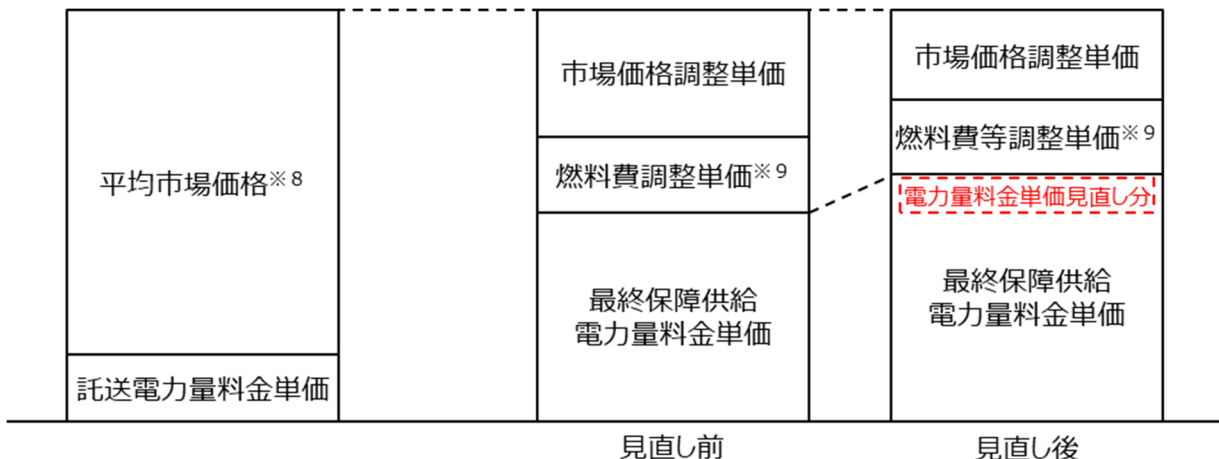
※6 全日のスポット市場価格は、午前0時から翌日午前0時までの単純平均スポット市場価格、昼間のスポット市場価格は、午前8時から午後4時までの単純平均スポット市場価格とします。

※7 従来の基準単価に該当します。

2. 電力量料金の見直しイメージ

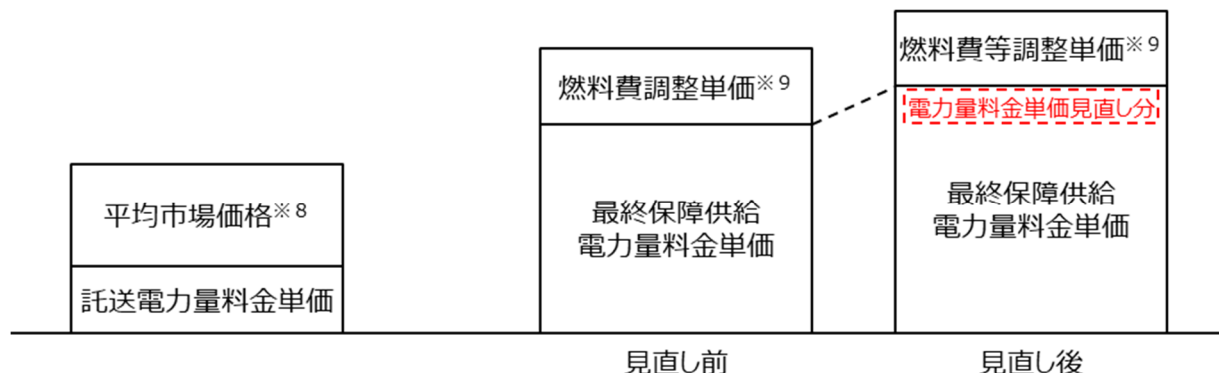
【卸電力取引市場価格：高騰時】

- 卸電力取引市場の平均市場価格に託送供給等約款^{※8}における電力量料金単価を加算した金額が最終保障供給約款における電力量料金単価（燃料費等調整単価^{※9}を加算・減算した値）を上回る場合は、最終保障供給約款における電力量料金単価に市場価格調整単価を加算いたします。
- 電力量料金単価見直し前後で、市場価格調整単価加算後の電力量料金水準は変わりません。（電力量料金単価が増加した分、市場価格調整単価が減少いたします。）



【卸電力取引市場価格：平常時】

- 卸電力取引市場の平均市場価格^{※8}に託送供給等約款における電力量料金単価を加算した金額が最終保障供給約款における電力量料金単価（燃料費等調整単価^{※9}を加算・減算した値）以下となり、かつ、平均市場価格が4.64 円/kWh（2019年度～2021年度で最も安い期間の平均値）以上の場合は、市場価格調整単価が零（ゼロ）となります。
- 燃料費等調整単価を加算・減算する前の電力量料金単価は値上げとなります。（実際のご請求金額は、燃料価格等の水準に応じて変動する燃料費等調整単価を加算・減算した後の電力量料金単価に基づき算定されるため、値上げとならない可能性もございます。）



【卸電力取引市場価格：下落時】

- 卸電力取引市場の平均市場価格^{※8}が4.64 円/kWh（2019年度～2021年度で最も安い期間の平均値）を下回る場合は、最終保障供給約款における電力量料金単価（燃料費等調整単価^{※9}を加算・減算した値、上記【卸電力取引市場価格：平常時】のパターンにおける見直し後の図に相当）から市場価格調整単価を減算いたします。

※8 平均市場価格 = 一般社団法人日本卸電力取引所（JEPX）の運営するスポット市場（卸電力取引市場の1つ）における東京電力パワーグリッド供給区域における1kWhあたりの取引価格（東京エリアプライス）の平均値です。なお、1. 料金単価等の見直しのうち、(2) 燃料費調整制度の見直しについての②平均市場価格とは異なるものです。

※9 1. 料金単価等の見直しのうち、(2) 燃料費調整制度の見直しについて をご参照ください。

(参考：2022年10月分ご請求金額に見直し後料金を適用したと仮定した場合のモデル試算)

下記モデルに基づき試算した場合、【卸電力取引市場価格：高騰時】のパターンに該当し、ご請求金額は見直し前後で変わりません。

	見直し前	見直し後
基本料金	174,845 円	174,845 円
電力量料金	388,014 円	513,414 円
燃料費(等)調整額	156,000 円	97,400 円
市場価格調整額	216,786 円	149,986 円
再生可能エネルギー発電促進賦課金	69,000 円	69,000 円
ご請求金額	1,004,645 円	1,004,645 円

<モデル>

- | | |
|------------------------------|-------------------------------------|
| ■ 契約種別：最終保障電力A | ■ 見直し前の燃料費調整単価： 7.80 円/kWh |
| ■ 供給電圧：6kV | ■ 見直し後の燃料費等調整単価： 4.87 円/kWh |
| ■ 契約電力：100kW | ■ 市場価格調整単価(夏季)： |
| ■ 使用電力量(夏季)：10,667kWh | 見直し前 10.20 円/kWh |
| ■ 使用電力量(その他季)：9,333kWh | 見直し後 6.86 円/kWh |
| ■ 力率：100% | ■ 市場価格調整単価(その他季)： |
| ■ 毎月の検針日：2日～31日
(計量日1日以外) | 見直し前 11.57 円/kWh
見直し後 8.23 円/kWh |

<ご留意いただきたい事項>

- ・実際の2022年10月分ご請求金額には見直し後料金は適用されません。
- ・実際のご請求金額は燃料価格、卸電力取引市場価格、契約電力、使用電力量等により変動するため、モデル試算とは一致しない可能性がございます。
- ・消費税等相当額を含みます。

以上